（別紙５）

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | unico八王子 |
|---|---|

公表日　2026年　11月　4日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ● | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ● | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ● | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ● | | 開放的で過ごしやすい環境です。 | 引き続き改善点を探って維持していきます |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ● | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ● | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ● | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ● | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ● | 第三者評価に代わる取り組みとして、<br>本部スタッフが定期的に事業所を訪問し、<br>運営状況や支援内容等を確認・評価する<br>内部監査を年２回実施しています。 | 今後、第三者機関からの評価も<br>検討していきます。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ● | | 全国のグループ全体を通じた定期的な研修や、<br>事業所内部でも独自の研修を行っている。 | |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ● | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ● | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ● | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | ● | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ● | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ● | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ● | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ● | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ● | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ● | | 毎日MTG時間を充分に確保している。<br>「前日の振り返り」「当日の確認」<br>公休等で不在の職員にも<br>情報共有がされている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | ● | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ● | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ● | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | ● | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ● | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ● | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | | ● | 協力医療機関の先生方とは<br>定期的に連携をとっています。 | 地域の保健機関、障害福祉機関、<br>保育・教育関係機関との連携支援体制は<br>早急に検討してまいります。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ● | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | ● | 利用者様のご希望がある場合の<br>情報共有とさせていただいております。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | ● | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | | ● | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ● | 活動の目的で児童館を<br>利用することはございます。 | 今後取り組んでいきたいという<br>考えはございます。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ● | 現状はできていない状況ですが、<br>今後検討してまいります。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ● | | 定期的な面談を行っており、<br>その他の状況でも逐一お伝えしあって<br>職員も共有しております | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ● | 送迎時やアプリ等で保護者と対話して<br>お子様の様子や支援の内容等を<br>お伝えするようにしております。 | 保護者研修のような支援プログラムも<br>検討してまいります。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ● | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ● | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | ● | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ● | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | ● | | 初年度は行っておりました。<br>今後、検討してまいります。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ● | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ● | | ブログやInstagram、LINEなどで、活動内容の紹介や連絡体制の情報を発信している。 | 必要によっては紙媒体での情報発信も検討していきたい。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ● | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ● | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ● | 介護施設様等への訪問や交流はありました。 | 開設当初からの理想ではあります。<br>定期的な活動を今後検討してまいります。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ● | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ● | | 定期的な訓練(地震・火災)を行っております。また、避難訓練実施時には、日々の連絡帳(アプリ)にて保護者様にご報告しております。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ● | | 職員間で充分共有し、<br>事態に備えての定期的な研修も<br>行っております。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ● | | 職員間で充分共有し、<br>事態に備えての定期的な研修も<br>行っております。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ● | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | ● | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ● | | 毎日のMTGにて細部まで<br>状況報告、共有しています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ● | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ● | | | |

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | unico八王子 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年10月20日 | ～ | 令和8年10月30日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 34 | （回答者数） | 32 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年10月20日 | ～ | 令和8年10月31日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 8 | （回答者数） | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年10月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 多彩なワークショップや、事業所を出て多方面に渡る課外活動など、活動プログラムが充実している | 活動内容に幅広いバリエーションをもたせ、毎回新鮮さを感じられるよう、企画や実施方法に工夫を凝らしている。 | 職員同士で意見やアイデアを共有し、多角的な視点を取り入れることで、事業所全体の企画力や発想力の向上に繋げていく。 |
| 2 | 大きな窓から燦々と陽射しが入る明るく広々とした、開放的かつ障害物に配慮した安全な支援室の確保。 | 運動活動に十分な広さを確保すると共に、創作活動や読書などに落ち着いて取り組める空間も設けている。また、児童同士の接触や思わぬ事故を防げるよう、室内の配置や導線にも配慮している。 | 子どもたちの興味や要望を把握し、遊具や活動に使用する備品の充実を図っている。新たな物品を導入する際には、支援室の広さとのバランスを考慮し、安心して活動できる環境の維持に努めていく。 |
| 3 | 保護者様方との日頃からの情報交換を通じて、お子さまの成長過程や発達上の課題について相互に理解を深め、共通の認識を持つことができている。 | 日々の活動や事業所内での様子を保護者様へ具体的に報告するとともに、ご家庭で抱えている不安や相談事項についてもスタッフ間で情報を共有し、組織全体で対応できる体制を整えている。 | 定期的な職員間の協議を充実させ、支援のねらいや改善すべき点について共通認識を深めた上で対応にあたる。また、児童や保護者様が抱える不安や悩みに寄り添い、安心して過ごせる環境づくりに努めていく。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域の皆様や地域の高齢者施設様との連携 | 事業所での日々の支援に集中しているということもあるが、開所当初からの理想である、近隣地域の皆さまや高齢者の方々との交流も重ねていきたい | 長期を見通した予定を立て定期的な交流を計ることを検討。 |
| 2 | 地域の児童や、放課後児童クラブ、また児童館との交流 | 地域、近隣のお子さんと活動する交流を設けてこなかった | 必要に応じて近隣の他施設や関係機関との連携を行っていきたい。また、地域のお子さん方が楽しく興味がわくような企画等の主催を考えて交流をもっていきたい。 |
| 3 | 利用児童の保護者様方同士の連携 | 事業所から個々の保護者様方とは連携を日々密にさせていただいている。一方、保護者様方同士のつながりがあまりもてないように感じられる。 | 今後は定期的な保護者会を企画、開催していきたい。 |